



本日の例会：2020 年 7 月 3 日（金）通算 1561 回 本年度 第 1 回
第一回クラブ協議会・委員長挨拶

〈新年のご挨拶〉



会長 熊本 誠司

本年度の会長就任に当たり一言ご挨拶を申し上げます。今年の 1 月に入り中国から新型コロナウィルスの発見が公表されてから、にわかに感染者が広まり、4 月の外出自粛でロータリーの活動で重要な会員同士のコミュニケーションが困難になりましたとき、前年度の土屋会長、藤井幹事のご努力でオンラインによる例会日に合わせた交流会を開いて頂き会員相互のコミュニケーションが継続できましたことに感謝いたします。

例会につきましては 6 月より、外出自粛も解除されましたが、まだまだ感染者も発生しており、以前の様に自由に交流をすることは困難な状況です。新年度からは、会員の皆様の安全を第一に考慮した例会運営と、外出することに不安を感じられる会員の方にはオンラインでの参加が出来る様にいたします。

本年度の RI 会長は、ホルガー・クナーク氏でドイツの方でテーマは『ロータリーは機会の扉を開く』です。RID2750 地区のガバナーは、福原有一ガバナーで地区テーマは『バリアフリー・マインド』です。福原ガバナーのテーマは、奉仕の機会の扉を開けるのは私達ロータリアンですが、その扉の開け方は様々ですので、望まれるのは、奉仕される相手と同じ視線に立って行動することと言われています。

今年度は、ロータリーの奉仕活動よりも事業に於いて困難な会員もおられると思いますが、日本に最初のロータリークラブが出来ました 1920 年は、スペイン風邪の大流行のときでした。世の中が困難な時こそ、ロータリーの様な奉仕活動が求められる時でもあります。

この一年は、会員同士がお互いに協力し合い、事業の発展を支え、奉仕活動に励んで頂きたいと願っています。

未熟な私ですが、どうか皆様のお力添えをいただき無事に会長年度を全うしたいと思っています、1 年間よろしくお願ひいたします。



副会長 河邊 幸夫

今年度の副会長の重責を仰せつかり責任の重大さを痛感しております。力不足ではありますがどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

我が東京赤坂ロータリークラブが誇るミスター ロータリーの熊本会長とフランス人の国際派の大先輩コンシニ幹事のお二人のサポートをしっかりと行い、会の運営が円滑に出来るようにお手伝いできればと思います。今年度は新型コロナウィルスの影響でロータリー活動自体も大幅に制限されるかもしれない状況ですが、奉仕と親睦の両輪もサポートして会員増強にも力を入れていきたいと思います。

我がクラブにとって実りの多い年となりますように努力させ頂きます。

みなさま宜しくお願ひ致します。



幹事 Thierry Consigny

今年度熊本会長より、幹事の大役を仰せつかりました、フランス人のコンシニ・ティエリでございます。1997 年 11 月に入会してから 23 年が経ちました。

我がロータリークラブは当時、東京新南（しんみなみ）ロータリークラブと呼ばれていました。共にこの 23 年間の旅を歩んだ既存の会員はわずかでしょう。

ロータリーは 37 歳の時、初めて日本で知りました。

ロータリアンの「四つのテスト」は自分の人生に大きな影響を与えました。ビジネスマンとして、そして政治家として。

今年は大変な年になりつつありますが、私は幹事として、熊本会長をサポートし、我がクラブの発展、そして我がクラブのさらなる国際化を目指しています。国境を越えた、ロータリーの国際活動についても会員の皆様に関心を持っていただきたいと思います。23 年間のロータリアンでありながら、まだ色々と経験が至らない点もあるかもしれません、皆様のご理解とご協力をお願いしたいと思います。自分のスタイルを活かして、幹事として、楽しく興味深いロータリー一年となりますよう努力したいと思います。

司会の藤井弘章幹事は、出張先の大分から移動をしながら例会の進行をされました。石井謙次会員も街を移動しながらの参加です。リモートでなければできない技ですね。

まず、坂口ソングリーダーの指揮のもと、泉さんのピアノ伴奏による歌です。と、ここで泉さんの P C が音声を拾わないというトラブルが。しかし、我らが藤井幹事は慌てません。とっさに携帯を使って泉さんとつなぎ、藤井さんの携帯から音を拾うという、文字通り離れ業で音声をつなぎ、みんなで歌うことができました。

今回の歌は、今年から新しく加わった「It's A Small World」と「少年時代」。歌詞が分からないと誰かが言うと、すかさず誰かが歌詞をカメラに向けてくれます。この連帶感が赤坂ロータリーですよね。

続いて、土屋会長、藤井幹事、そして次期会長となる熊本副会長、コンシニ次期幹事からそれぞれ挨拶を頂きました。そして、参加者一人づつ、今年度の感想などをスピーチしました。

コロナという特異な環境下で、例会やイベントについて難しい判断を迫られ、ご苦労されたこと、ZOOMを使って例会を工夫して開催されたことなど、土屋会長・藤井幹事ほか幹部の方々に対して、皆さんから異口同音に感謝の言葉がありました。改めて、土屋会長、藤井幹事、本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。



本日参加者 21 名(順不同 敬称略)
 土屋 熊本 福田 入沢 岩上 石井(謙) 大谷
 西澤 浅沼 藤井(宏) 泉 出川 コンシニ 坂口
 谷口 小原 金山 張 村山 石井(達) 藤井(隆)



6月 26日 4 件 32,000 円 累計 933,013 円
 多額の寄付を有難うございました。(敬称略)
 土屋東一 / 小原健 / 石井謙次 / 岩上義明

今 後 の 予 定	日 付	開始時間 終了時間	場 所	事 項	内 容
	7月 10日	12:30 13:30	B1 オーロラ ANA インターコンチネンタルホテル東	例 会	卓話 : 「アフターコロナ時代の IT と サイバーセキュリティ」 (株)Armoris COO 御厨薰氏
	7月 17日	12:30 13:30	B1 オーロラ ANA インターコンチネンタルホテル東京	例 会	卓話 : 「なぜ人は大都市圏に集まるのか ～人口移動と経済」 オフィス金融経済イニシアティブ 代表 山本 謙三 氏
	7月 24日			休 会	(体育の日)
	7月 31日	12:30 13:30	B1 オーロラ ANA インターコンチネンタルホテル東京	例 会	暑気払い例会